

献 辞

谷口弘行、岩本裕二郎両教授は、尾上学長の愛弟子として、早くから本学の教育研究に携わってこられました。

谷口教授は、1970年法学部就任以来、一貫して東南アジア政治の研究に専心され、国際関係史を主に講義されてきました。1989年より法学部長、1998年より神戸学院大学学長を務め学部と学院の発展にこの上なく貢献されました。

岩本教授は1977年に本学就任後は、オセアニア政治の研究教育に尽力されてきました。1993年に法学部長に就任、1995年1月の大震災に際しては、よく難局をきりひらかれました。

本学部の国際関係分野はわが国のこの分野でも草分け的存在であり、本学部はこの分野では全国でも有数の教育水準を誇ったものでした。お二人がのちに交際関係学科創設に際してはその中心的役割を果たしたことは言うまでもありません。

大学創設においては、法学部は栄養学部について、第二番目に創設されました。当初は不十分な教育研究環境のもとで、大変ご苦労されたことは、幾度も耳にしました。明石駅からの交通手段と道路事情がはなはだ不備で、通学に苦労したことをはじめ、受験生集めのための高校めぐりなど、数えあげればきりがありません。

現在の本学の発展のさまは、まさに夢のようだと、感慨深いものがあります。

お二人のこれまでの大学の発展に尽くしてこられた多大のご尽力に心から敬意を払いつつ、さらにそれを引き継いで本学の一層の隆盛を期すべく、本号を献呈する次第です。

2009年3月

法学部長 氏家 伸一